

THE KILLER WHALE TIMES

2019年度 全日本大学選手権大会号

めつきり秋めいて参りました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。タイムス班の田畑です。

去る9月5日から8日に第46回全日本大学選手権大会が行われました。商大からは男子舵手付きフォアと女子シングルスカルの2クルーが出場し、女子シングルスカルの田畑が商大としては5年振りに準決勝に進出、男子舵手付きフォアも善戦しましたが、力及ばず敗者復活戦敗退となりました。来年は今年以上の結果を残せるようにどのクルーも頑張りたいと思います！

今回、多くの方々からの激励のお言葉を頂きました。また戸田まで応援に駆けつけてくださった方々も多く、大変励みになりました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後は1,2年目の新人が大きな大会を控えています。彼らにも変わらない声援をよろしくお願いいたします。



RACE RESULTS

○男子舵手付きフォア

C:小野寺航(3) S:荒井隼人(3) 3:末吉祐馬(4) 2:豊田将生(3) B:後藤樹紀(4)

予選

Race No: 48							
発艇時刻: 09/05 14:26				組別: 予選B組			
順位	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	レ	Qualify
1	東京工業大学	01:39.45	03:22.62	05:05.60	06:56.15	1	→Semi-Final
2	東京大学	01:43.36	03:29.39	05:13.06	06:58.88	3	
3	岡山大学	01:42.72	03:30.37	05:15.57	06:59.78	4	
4	小樽商科大学	01:45.77	03:32.72	05:21.09	07:12.82	2	
5	早稲田大学理工漕艇部	01:40.68	03:27.34	05:17.04	07:17.07	5	
						6	

敗復

Race No: 106							
発艇時刻: 09/06 13:54				組別: 敗復C組			
順位	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	レ	Qualify
1	龍谷大学	01:42.10	03:28.51	05:16.48	07:01.80	4	→Semi-Final
2	新潟大学	01:43.74	03:32.77	05:21.94	07:07.96	3	
3	関西大学	01:44.18	03:33.42	05:23.07	07:09.66	2	
4	小樽商科大学	01:50.98	03:44.15	05:37.72	07:25.41	5	
						1	
						6	



敗復、フォアの蹴り出し。
この時間帯は日差しが強く、選手たちも大変そうでした。

○女子シングルスカル

田畑七奈(3)

予選

Race No: 8							
発艇時刻: 09/05 08:40				組別: 予選B組			
順位	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	レ	Qualify
1	四方 美咲 (鹿屋体育大学)	02:05.86	04:14.27	06:22.23	08:27.59	6	→Semi-Final
2	栗原 安加里 (松山大学)	02:00.07	04:10.59	06:20.90	08:29.69	1	
3	田畑 七奈 (小樽商科大学)	02:00.88	04:10.38	06:23.08	08:30.30	2	
4	柿島 麗 (金沢大学)	02:01.45	04:12.88	06:28.27	08:37.76	4	
5	佐藤 真夏海 (一橋大学)	02:03.26	04:14.76	06:27.89	08:39.30	5	
6	土居 あやめ (南山大学)	02:05.52	04:19.26	06:33.21	08:45.42	3	

敗復

Race No: 70							
発艇時刻: 09/06 08:40				組別: 敗復A組			
順位	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	レ	Qualify
1	栗原 安加里 (松山大学)	02:00.04	04:10.20	06:21.54	08:33.33	3	→Semi-Final
2	田畑 七奈 (小樽商科大学)	02:00.32	04:12.35	06:28.21	08:42.09	4	→Semi-Final
3	今村 美波 (香川大学)	02:06.19	04:20.24	06:36.54	08:48.38	2	
4	田原 京佳 (山口大学)	02:04.98	04:19.65	06:36.99	08:48.39	5	
5	福岡 楓 (日本女子体育大学)	02:11.04	04:29.42	06:49.31	09:10.91	1	
6	坂元 里乃 (東京医科歯科大学)	02:11.25	04:30.89	06:52.75	09:14.34	6	

準決勝

Race No: 138							
発艇時刻: 09/07 10:38		組別: 準決B組					
順位	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	レ	Qualify
1	松井 友理乃 (早稲田大学)	01:59.09	04:11.18	06:23.81	08:33.71	3	→Final A
2	菅原 未羽 (福岡女子大学)	02:07.31	04:24.37	06:43.05	08:59.27	4	→Final B
3	田畑 七奈 (小樽医科大学)	02:05.26	04:23.90	06:48.43	09:02.35	5	
4	二宮 由紀子 (京都大学)	02:09.00	04:28.84	06:48.67	09:03.18	2	
						1	
						6	



田畑(3)準決勝のレース中の写真。
佐藤洋博さんよりお写真頂きました。
(<https://mobile.twitter.com/zuriba1/status/1170333114972786688>)

敗復、蹴り出し直後



COMMENT

○末吉祐馬(4)

今回のインカレで引退となりました、4年目の末吉です。

私自身は今年で3回目のインカレでしたが、今年の敗者復活の2000mが今までで一番辛い2000mでした。私は中盤くらいでもう力尽きかけていたのですが、最後の500からアウトプットも大きく上がり、みんな頑張ってくれているなと少し泣きそうになりながら漕いでいました。

正直今年は万全の状態でも臨めた大会ではありませんでした。しかしその中で自分が中心となり、できる限りのことはしたつもりです。特に2年目の豊田がよく頑張ってくれていました。エルゴも現在部内で最も早いタイムを持ち引っ張ってくれているのですが、艇上でも自分の他に上級生しか乗っていない状況で、しっかり声を出しながら漕いでくれていました。こういった姿勢は必ず来年以降に繋がると思うので期待したいと思います。

これからは応援される側から応援する側になるので、後輩達に嫌がられない程度に茨戸に顔を出して手助けしていきたいと思います。

OBOGの皆様、結果が出せず申し訳ありません。今まで応援ありがとうございました。

○後藤樹紀(4)

今年のインカレまでを振り返ると、個人的には茨戸レガッタまではシングルスカルを漕ぎ、7月以降にフォアに乗り始めるというスケジュールでした。

シングルスカルに乗っていた期間は専らUT練習に励みました。そのおかげもあり就活中に落ちてしまった体力を取り戻し、エルゴスコアは4年間で一番いいタイムを出すことが出来ました。



笑顔の後藤(4)

茨戸レガッタが終わり、7月からフォアに乗り始めてからは、怪我人などの影響でなかなか固定クルーで練習できない日々が続きました。

今年は昨年よりエルゴの平均タイムが速かったのですが、艇速に結びつかなかったのはクルーの乗り替わりが激しく安定した練習が出来なかったこともあるかと思います。

シーズン中の怪我を減らすためにも練習後のストレッチやバランスのとれたトレーニングをして欲しいなと思います。

最後になりますが、谷津さんをはじめ OBOG の方々、部活を続けてきた中で支えてくれた全ての方に感謝申し上げます。

4年間ありがとうございました。

○荒井隼人(3)

今回私は整調としてインカレに出場させていただきました。大会1ヶ月ほど前に病気で乗艇もエルゴも出来なくなってしまうなど本調子で臨めたかといわれるとそうではないのかもしれませんが。しかしできることをした上での結果なので悔いはありません。レースを終えて結果はついてこなかったけれども大

会に出られたことは自分にとって大きな経験となったと思います。商大ボート部として活動できるのもあと1年です。来年のインカレで悔しい思いをしないよう残された時間を有意義に過ごしていきたいと思います。

応援有難うございました。

○小野寺航(3)

このようにして自分のことをコックスということになるとは思いもしなかったのですが、今年はコックスとして活動して、全日本大学選手権大会でも対校に乗らせていただきました。自分のことを少し書かせていただくと、1年生で漕手として入部して、そのあと椎間板ヘルニアになったあとバックスタッフになりました。僕はそのままバックスタッフとして引退までいくと思っていたのですが3年のはじめにコックスとして船に乗ることが決まりました。

コックスの経験が全然なかったことや、緊張から全く自分に自信がもてず、それがそのままコックスワークに出してしまったのはとても反省しているところです。あの戸田のコースに溢れているレース前の緊張感や張り詰めた空気にあてられて萎縮してしまったのかなと思います。初めてのコックスの年でこの戸田のレースに出たというこの経験は2度と味わえないのだろうなと思います。

今回のレースの結果は、やはり結果だけ見ると不甲斐ないものになってしまったと思います。そうなった要因は様々です。今回のクルーで引退した先輩方をぬくと来期もいるのが3人で、今回の反省をしっかり活かす必要があります。そのなかで、コックスの僕にしかわかっていないこと、コックスの僕だけにある反省をしっかりと自分で確認し、それを自信を持って発信していくように、頑張っていこうと思います。

○田畑七奈(3)

女子シングルスカルで出漕させていただき、結果として目標に掲げていた準決勝進出を果たすことができました。この場をお借りして支えてくださった、また応援してくださった全ての方々に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

昨年、初めてシングルで戸田に挑んだ全日本新人では結果を残せず、全国のレベルの高さと自身の認識の甘さを痛感することになりました。「次に挑むときは全国でも戦えるようになって見せる」、そう思いながらインカレまで過ごしてきました。ただ、常にモチベーションを高く維持できていた訳ではありませんし、慢性的な腰痛もあり満足のいく練習量は確保できていません。直前の2000ttでも良いタイムを残せないまま戸田入りすることになりました。

フォアの後ろ姿。
これから蹴り出し。



そして大会当日。私のレースプランは予選、敗復、準決の3本とも全く同じで、一言で言うてしまうと「最初と最後で頑張る、レートは落とさない」これだけでした。技術も体力も劣る自分が勝つためには気力が重要になると思ったので、踏ん張る所を明確にして挑みました。

実際のレース展開としては初めの500~1000mで飛び出し、後半でじわじわと追い詰められ、スパートでまた上げるという狙い通りの流れにすることができました。

今回の大会では自分の今持っている力を最大限出し切れたのではないかと思います。しかし、準決勝であと3秒縮められていれば最終日まで残れていたと思うと非常に悔しいです。もっともっと上の舞台に立ちたい。今後は持久力と技術力の向上に努めながら一回りも二回りもレベルアップして最終日でも戦える実力を身に付けます。

○豊田将生(2)

今回のインカレではフォアの2番を漕ぎました。

本番のレースでは予選、敗復ともにスタートでの出遅れが大きく、その差を最後まで埋めることができませんでした。予選のスタートはあまり良くありませんでしたが、敗復はいつも通りくらいのスタートでした。それでも差を着けられたので、もっと高い目標に向けて練習すべきでした。

今回のインカレでは、他大学との大きな力の差を感じました。来季また自分達の目標に挑むためには、もっと上を見て練習に取り組まなければならないと痛感しました。

自分は来年、再来年があるので、今回の反省を生かして更なる成長をしたいです。

○井上蓮(1)

1年目漕手の井上です。初めてインカレに行きました。インカレではボートを漕ぐ仲間と敵の多さに驚きました。各大学でのアップの違い、応援の強さ、決勝の高度な戦いなど多くのことを吸収できたインカレでした。

それに加えて、普段茨戸で見ることのできない艇が見れ、貴重な経験となりました。インカレ中最も印象に残ったのはペアの試合でした。難度の高さと力強さがかっこよく見え、憧れました。残念ながら乗る機会がないので憧れることしかできませんが、今以上にしっかり鍛えて、自分の乗れる艇でインカレという最高の舞台に立ちたいと強く思いました。

○廣中にいな(1)

今回一年生は初めて戸田のボートコースに行きました。まずその広さと艇庫の多さに驚きました。茨戸での艇が多い日とは比べ物にならないほどで、広いコースにたくさんのボートがある光景は私にとって新鮮でした。



準決発艇直前。左が伴チャしてくれた高瀬(4)、右が田畑(3)。写真は北大さんが撮ってくれた。



サポートに回ってくれた2年目と応援に来た1年目もトレーニングは欠かしません。

ゴール付近で見えていましたがどのクルーもすごく強くて素敵でした。レースを見て、商大ボート部の目標であるインカレ準決勝進出ということがどのようなレベルのことかということも少しわかりました。商大のクルーのレースや準決勝、決勝を見て、私もやるからにはこの舞台で漕ぎたいと思いました。できるだけ多くのことを吸収して帰ろうと思い、近くでレースを見て速いクルーの漕ぎを見られたのでそれを今後にかしていこうと思います。

出場されたみなさんお疲れ様でした。



大会前夜、癒しを求めて1年目のいる後谷会館にお邪魔した帰り。皆でお見送りしてくれました。左から篠原(1)、廣中(1)、高瀬(4)、井上(1)、中山(5)、岩谷(1)



フォアのミーティング中。おちゃらける荒井(3)

マネージャーの齋藤(3)とスタッフの高瀬(4)が作ってくれた可愛いおにぎりたち



インカレをもって、4年目漕手の2人は引退となりました。今までありがとうございました！そしてお疲れさまでした！4年目3人の写真。左から後藤、末吉、高瀬。



監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦(平成5年卒)

☆全日本大学選手権について(令和1年9月5~8日)

6月末日に行われた茨戸レガッタからインカレまではほぼ2か月。男子の方は一度クルーを解体して、上級生漕手7名の中から最強の付きフォアを作るべく改めてセレクションを行った。7/6に行ったエルゴ2,000mトライアルでは、商大で久々の7分切り(6分51秒)の2年目豊田、春先に精彩を欠いた4年目の後藤、2年目の根間が大きく記録を伸ばし、トップ4人の平均は7分4秒であった。北大戦で整調を漕いだ荒井の故障もあって、そこから3週間、乗り換えによるセレクションとUT中心のトレーニングを平行して行った。試行錯誤の中、セタレガッタ(医学部との1,000m招待レース)で3分40秒を出してしまったり、ロング漕の並べでも大きく水を開けられてしまったのはこの時期である。最終のセレクションは7/28、復帰した荒井が優位とみて、以下の通りのクルー編成になった。

S.荒井(3)、3.末吉(4)、2.豊田(2)、B.後藤(4)、C.小野寺(3)

しかしクルー決定の翌日から試験期間で7/29~8/6まで休みに入られたのは痛かった。学業もボートもどちらも両立させるよう言ったつもりだったが、結局練習再開は8/7から。休んだ分頑張ろう、と言ったって体がなまった状態で急に頑張ればケガの原因にもなる。10日間も漕がないとどうやら体幹が緩むらしいという事も見取れた。茨戸での最後の練習は8/29、それまでに2,000mトライアルも2回行ったが、やや順で7分ジャストくらい。漕ぎが短くて押し切れていないし、シートコントロールも雑でキャッチ前に止まる。そこをクリアできなかった。レースそのものは敗復から見る事が出来たが、スタートから安定感が無く、コンスタントで1本1本離されていく感じで、完全に力負けと言っていいたろう(戸田でお会いした一橋の先輩から「漕ぎが短いね…」と言われてしまったが、同感である)。フォアの準決勝進出レベルは年々上がってきている。順なら6分40秒カット、逆でも7分00秒カットくらいを目指すべきだが、それと比べれば20~30秒は足りない。と言う事をもう3年くらい続けて言っている。冬場の体力作りからもっと見直す必要がある。4月以降の練習も、やれ補講だの風邪だの故障だの欠員が出れば、せつかくのトレーニングの流れも途切れがちになる。そこをどう埋めるかという柔軟な計画性を持つ必要がある。

そして7~8月の部内・部外を通じての競争の無さも問題である。茨レガまでは北大医学部のフォアと並べの機会が多く持てたのだが、それも彼らが目標とする8月初旬の東医体まで。北大全学はエイトでの練習になるので、並べる相手がいなくなる。しかもちょうどそのタイミングでこちらのセレクションも終わってクルーメンバーが固定になると、部内間での競争も無くなる。茨戸最後の練習で、何故かセレクションの時より艇が走らないと言われてしまったが、肉体的疲労以上にメンタル面の張りの無さもあつたと思う。確かにメンバーを入れ替えてやっていた頃は緊張感もあつて練習としては良かった(エイト2ハイで本番ギリギリまでシートレースを繰り返したチャーリー・バット氏のやり方はまさにここを突いていた)。しかしそれだと固定メンバーで漕ぎ込めない分、クルーとしての完成度を高められないというデメリットはある。両方の利点を何とか活かさないものかと考えている(ちなみに何度か名前が出てきた北大医学部は8月の東医体で総合優勝を果たしている。部員も増加の一途で、その総合力は見習うべきものがある)。

そして今回のインカレでのトピックは、何といても女子シングルスカルで3年目の田畑が準決勝に進んだことである。しかも準決勝では3着、順位決定戦に進む2着まであと3秒という大健闘である。

昨年は北大戦、北海道選手権、市民レガッタで茨戸3冠となったが、その実績を持って臨んだ全日本新人

戦では敗復落ち。その雪辱を期して臨んだ初めてのインカレで、しっかり勝負になるレースが出来た。今シーズンは腰の故障に泣かされた。思うように練習量を積みなかつた茨戸での日々を思うと、出来過ぎと言っていいくらいである。もともとベースとなる体力はあるが、どうしても練習が途切れがちになる分、漕ぎが安定せず、艇速につなぎ切れないもどかしさはあった。それでも一人で2,000mトライアルを繰り返す事で、本番への勢いを蓄えていったのだろう。改めて潜在能力の高さとアスリート根性みたいなものに感服する。他の男子漕手だけでなく、応援に駆け付けてくれた OBOG、1 年目部員に準決勝という舞台を見せてくれた事にまずは感謝したい。

技術面でもまだ伸びる余地は大きいとみている。4 年目となる来年にも当然期待はかかるが、腰の状態が今年より良くなる保障は無いし、そこに就活なども絡めば、そう楽な道のりではないはず。しかし期待せずにはいられない選手ではある。

本稿に関するご意見等は下記までお願いします。

n_tanitsu@yahoo.co.jp

たくさんの素敵な差し入れ

ありがとうございました！！

今大会、多くの方々から素敵な差し入れを頂きました！ありがとうございました！差し入れのおかげで良いレースが出来たと言っても過言ではありません。支えられていることに感謝しながら今後も練習して参ります。

渡辺捷弘様(1967 年卒)	ケーキ
浪岡幹様(2005 年卒)	ぶどう
鍛冶谷会館様	アクエリアス 1 箱、お菓子
後谷会館様	ケーキ
4 年目後藤のご両親	稲庭うどん、チーズケーキ
3 年目荒井のご両親	アミノバイタル

差し入れを手に、嬉しそうな2年目
左から善積、久光、豊田



今後の大会日程

9月15日(日) 札幌市民レガッタ(茨新)
9月27日(金)~29日(日) 北海道ボート選手権大会(道シェル)
10月4日(金)~7日(月) 国民体育大会ボート競技
10月12日(土)~13日(日) 東日本新人選手権
10月13日(日) マシーンローイング大会
10月25日(金)~27日(日) 全日本新人選手権大会
11月9日(土)~10日(日) 東日本選手権競漕大会

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会会則に則り、満年齢65歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数のOBの方々をご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(藤村園子)か担当の平成10年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)
北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガクソウ
タイプ
店番:341
口座番号:3657349
取引店:小樽中央支店
連絡先: 会計 3年目 荒井 隼人
TEL: 080-3571-6710
MAIL: ft_madrid_0626@icloud.com

❖個人情報保護の取り組み❖

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。
 - ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。
 - ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。
- ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先: 主将 4年目 末吉 祐馬
TEL: 080-8290-0129
Mail: rowing1937@yahoo.co.jp